

事例

『酒』から始める大林復興！地域元気プロジェクト

【活動主体】一般社団法人 ふるさと楽舎

【安佐北区大林】

概要

地域住民と中山間地域の活性化に取り組む若者グループが協力して、休耕田での酒米作りをきっかけとして、人を呼び地域を元気にするまちづくりに取り組んでいます。

活動内容

- 大林桧山地区は、近年、高齢化や土砂災害の影響により、休耕田が増え、地区の存続も危ぶまれていました。そこで、休耕田を活用して何かできないかと、地域住民と中山間地域の魅力発信に取り組む若者グループが協力し、これらの田んぼで米を育てオリジナルの酒「復興の酒」づくりへの挑戦を始めました。
- 米造りは、田植えや収穫時に地域外から多くの若者を呼び、地元農家に教えてもらいながら取り組みます。また、収穫祭や草刈り体験などのイベントも行い、住民と若者との交流の場をつくることで、地域が元気になっています。
- 2022年春、四年の歳月かけ、千年先も集落が存続していくようにと願いを込めて名づけられた復興の酒「大林千年」が出来上がりました。利益の一部は活動資金として、持続的な活動に充てられます。



活動団体と事業の概要

活動団体	一般社団法人 ふるさと楽舎
活動場所	安佐北区大林町
活動時期	通年
スタッフ	5名

事業費	H30年度：175万円 H31年度：175万円 R2年度：138万円
補助金以外の主な収入	クラウドファンด์ 事業収入
主な支出	稲作に係る費用 酒づくりに係る費用

ポイント

- ★ 「休耕田」という地域課題を逆手に取り、魅力発信の手段として活用しています。
- ★ 地元の酒造会社と米造りから取り組み、「酒の製造・販売」というビジネスによる資金獲得を図り持続的な活動を目指しています。
- ★ 地域の課題と若者のやりたいを結びつける場づくりにつなげます。